

韓国・朝鮮語資料を
登録してみよう

平成 14 年度総合目録データベース実務研修
(目録担当者コース 第 1 回)

鳥場 世浩
井上 佳代
大和 加寿子

1. ポイント

- A) 人材
- B) 韓国・朝鮮語資料の取扱い
- C) 入力支援ツール

A) 人材

統括者(常勤の図書館職員)

語学

研修体制は各参加組織内で保証されるべきである

勤務時間内の研修

直接の実務担当者以外の職員も対象とする

図書館員の基本的な知識として位置づけられるべきである

補助者(非常勤職員、アルバイトなど)

日本語・韓国語の能力が共に必要である

外注業者

仕様書に明確に韓国語能力の要件を記述する必要がある

入札の場合は特に入念に

B) 韓国・朝鮮語資料の取扱い

とにかく一度読むことを勧める

とくに解説・規則制定の経緯がわかる

B - 1. 「取扱い」の問題について

「基本方針(4) 既存データの取扱い

暫定入力による既存データについては、修正可能な参加館が修正を行う。」

どのような問題が起こる可能性があるかという説明が不十分。

B - 2. 既存データの取扱い(書誌レコード)

既存データ

日本語に翻訳された形

ハングルでは検索できない

日本語読み、漢字のキーワードによる検索が必要

標準的な翻字方式を用いた翻字形

「標準的な翻字方式」が明確ではない

フォローするのは難しい

B - 3 . 既存データの修正

字体は分かち書きも含めて情報源にある通りに修正

ヨミはハングルに修正

もともと入っていたヨミはVT等に移すのが親切と思われる

作成館への配慮

B - 4 . 既存データの取扱い(典拠レコード)

既存データ

標目形

漢字

カタカナ

翻字

ヨミ

漢字の日本語読み

韓国語読みのカタカナ表記

B - 5 . 既存データの修正

標目形は原則的に修正しない(コーディングマニュアル)

ハングル形はSFに

?ヨミがカタカナで入っていた場合にハングルに修正してしまってよいのかどうか不明確

ヨミをハングルに修正した場合は、もともと入っていたカタカナの形はSFに移す方が親切と思われる

B - 6 . 補足

韓国・朝鮮語は分かち書きがある

タイトル検索とフルタイトル検索で検索結果が異なる

取扱いを基準としてハングルを使用して入力されているレコードがあることにも注意!

文字コード

C)入力支援ツール

KORMARC

助詞の入力事例、助詞一覧

参考図書リスト

漢字ハングル変換ツール(<http://cattools.nii.ac.jp/hangul/>)

分かち書き用例集

C - 1. 支援ツールの例

ページ・テキスト翻訳

STUDIO KAMADAの「リンク集(翻訳・辞書)」

http://homepage2.nifty.com/m_kamada/l_translation.htm

* 韓国・朝鮮語以外の翻訳にも使えます

ALL Korea

<http://www.allkorea.co.jp/cgi-bin/allkorea.front>

* メンバー登録が必要です

日語辞典、国語辞典

NAVER

<http://jpdic.naver.com/>

韓国語のサイト。自信のある人は使ってみましょう

人名(冊子体)

国立国会図書館韓国・朝鮮著者名典拠録

現代韓人名録 日外アソシエーツ 1993

文学関係

韓国・朝鮮文学への窓口

<http://www.han-lab.gr.jp/~cham/>

* 「韓国文学を味わう」の「韓国文学史関連年表」には文学者の生没年が詳しく載っています

春香との触れ合い

<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/omkiju/>

* 参考になる辞書のリストなど

初歩的なことですが...

韓国語入力

これから韓国語資料の登録を行おうとしている図書館に対しては、基本的なハングル入力ツールのインストール方法、入力方法についての情報提供が必要であると思われる。

<まとめ>

いろいろとある問題は認識しましょう。

しかし

大胆果敢に登録しましょう!!!